

一般社団法人 日本医療情報学会
2023年度(第20期)第1回理事会 議事録要旨

日 時：2023年7月27日(木) 16:02~17:40

場 所：LMJ 東京研修センター 3S 会議室 + Webex

出席者：理事 23 名 (Web 出席者を含む)、監事 2 名、常任幹事 3 名、事務局 2 名

1. 審議事項

1. 1 一般社団法人日本医療情報学会活動方針の改訂について【審議資料1】

代表理事より、日本医療情報学会活動方針は、2019年度の改訂以降、人工知能やRWD、セキュリティなどの重要な課題が生じているので、それらを追加する形で改訂したいという提案があった。まず、理事の中で40歳代の3名の理事が改定案を作成し、それを基に理事会で議論を加え、11月の医療情報学連合大会で公表できるように進めていくことが承認された。

1. 2 個人情報の取扱いに関する日本医療情報学会の見解について【審議資料2】

倫理委員会の委員長より、2022年度第7回理事会で、日本医学会連合主催の第7回研究倫理教育研修会の報告をした際に、代表理事より日本医療情報学会としての課題の抽出をするよう指示されたことを受けて、研修会の9つの課題一つひとつに対して、日本医療情報学会として検討すべきことをピックアップした資料が提出され、説明が行われた。説明の後、出席理事より、いくつかの意見が出された。出された意見を踏まえ、倫理委員会で検討を進めていくこととなった。

1. 3 日本医療情報学会次期監事選挙告示(案)について【審議資料3】

事務局より、次期監事選挙の告示(案)が説明された。被選挙人名簿の異議申し立てについては、FAXよりもメールのほうがいいのではないかという意見があり、選挙管理委員会で検討して変更することとなった。次期監事選挙告示(案)は、この点を検討することを条件に承認された。

1. 4 ホームページのリニューアル業者の選定について【審議資料4】

広報委員会の委員長より、ホームページのリニューアル業者の選定について、理事会、事務局および広報委員会より推薦された4社について、広報委員会で第一優先交渉権獲得ベンダーを選定した経緯が説明された。プロポーザル、プレゼンテーションの総合評価の結果、点数が一番高かったベンダーを第一優先交渉権獲得ベンダーとすることが承認された。

1. 5 新入会員の承認について【審議資料5】

事務局より、資料に基づいて、2023年5月~6月の会員の入会ならびに退会の状況が説明された。説明の後、新入会申込者の入会の賛否を諮ったところ、申込者全員の入会が異議なく承認された。

1. 6 その他（被災者の会費免除について）【資料なし】

代表理事より、被災者の会費について、可能であれば短期間の免除制を考慮したいという提案があった。説明の後、出席理事より、いくつかの意見が出された。出された意見を踏まえて、総務・規約委員会より案を出してもらい、9月の理事会で実際運用するかどうか、修正点などを審議することになった。

2. 報告事項

2. 1 第27回日本医療情報学会春季学術大会（シンポジウム2023）の開催報告【報告資料1】

第27回日本医療情報学会春季学術大会の大会長より、演題数、参加者数、企業協賛数などが報告された。課題等として、演題募集については Confit の仕様が大会の運用に合わず対応に苦慮したこと、反省点として、企業協賛が予定より多く場所確保が困難で手狭となったこと、チュートリアルへの応募が想定外に多く、会場費・人件費がかかったこと、全体に情報公開が遅かったこと、などが報告された。

2. 2 第24回日本医療情報学会看護学術大会の開催報告【報告資料2】

第24回看護学術大会の開催結果が、看護部会の部会長より報告された。大会長は石垣恭子先生、会場は神戸大学統合研究拠点コンベンションホール、テーマは看護情報の新たなる船出、参加者は現地でのみの参加で450名という報告であった。

2. 3 第43回医療情報学連合大会（第24回日本医療情報学会学術大会）の準備状況について【報告資料3】

第43回医療情報学連合大会のプログラム委員長より、第43回医療情報学連合大会（第24回日本医療情報学会学術大会）の準備状況が報告された。企画としては、学会長講演、大会長講演、特別講演、大会企画として3つのキーノートレクチャー、その他、学会企画1、大会企画3、共同企画15、産官学セッション1、公募企画17、チュートリアル6を予定している。演題については、口演147、ポスター70、ハイパーデモ8の投稿があり、査読が終わって最終登録に入っている。ランチョン・スイーツセミナーは32、企業展示は45社52小間の申し込みがある。

2. 4 第25回日本医療情報学会看護学術大会の準備状況について【報告資料4】

第25回日本医療情報学会看護学術大会の大会長より、同大会の準備状況が報告された。会期は2024年8月30日～31日、会場は大田区産業プラザPio、大会役員は、プログラム委員長が柏木公一先生、実行委員長が岡峯栄子先生、事務局長が西 亮太先生という報告であった。

2. 5 日本医療情報学会と関連団体の連携状況について【報告資料5】

事務局より、日本医療情報学会と関係団体との連携状況（日本医療情報学会が出資している団

体、社員となっている団体、会員となっている団体、役員を出している団体など)が報告された。

2. 6 日本医学会の新役員について【報告資料 6】

代表理事より、2023年6月23日に開催された日本医学会臨時評議員会において、日本医学会の新役員が決定し、会長には門田守人先生が再選されたことが報告された。

2. 7 厚生労働科学研究(情報セキュリティ人材の育成と配置)への参加について【報告資料 7】

谷川理事より、令和5年度厚生労働行政推進調査事業費の安全な地域医療の継続性確保に資する医療機関における情報セキュリティ人材の育成と配置に関する研究が資料に基づいて報告された。

2. 8 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会の加盟学会に対するアンケート調査の結果について【報告資料 8】

代表理事より、全国公衆衛生関連学協会連絡協議会の加盟学会に対するアンケート調査の結果が資料に基づいて報告された。

2. 9 その他

- 1) 編集委員会の委員長より、学会誌の発行は、本年は計画通り進んでいるとの報告があった。
- 2) 木村常任幹事より、MEDINFO27はドバイで開催されることが報告された。
- 3) 事務局より、投稿規程を改定したが、投稿原稿はまだ3部送られてきているので、まわりに投稿される方がいたら、1部でいいとアナウンスしてほしいという発言があった。

以上